

親が育ち子どもも育つ地域活動のためのワークシート

（保護者）

～家庭教育支援の視点から～

活動日時 ○年○月○日（○） 活動場所 ○○小学校区 活動名 「○○活動」

★ 家庭教育支援の視点（教育基本法第10条より）

★ 生活のために必要な習慣を身につける ★ 自立心を育成する ★ 心身の調和のとれた発達を図る

家庭教育支援の視点をわかりやすく示した一例「お・や・そ・だ・ち」

「お・や・そ・だ・ち」から見た活動の目的や内容

家庭教育支援の視点について活動のなかでの感想などをご記入ください

主催者が記載

「お・や・そ・だ・ち」から関連する活動目的を記載。

活動後参加者が記載

例えば、活動を終えて自分自身成長した、あるいは成長につながりそうなことはありますか？

活動後参加者が記載

例えば、活動を終えて自分自身成長した、あるいは成長につながりそうなことはありますか？

お 「親子で話そう」

親子のコミュニケーションで
家族のきずなを育みましょう

清掃活動を通して普段見ることができないお互いの生活の一部を話すなど共通の話題を話し、お互いに知らなかったことを知る。

普段、あまり学校のことを話さない子どもが「池にめだかがいるねん」と嬉しそうに教えてくれたので、「お母さん、知らなかったわ。冬でも元気なんやね。めだか、好きなの？」と聞くと、「小さいから好き」と答えた。帰ったらめだかが住みやすい環境について調べて子どもと話してみようと思った。

や 「やってみせてあげよう」

親の生き方が
子どもへの
最高の教育となります

親が率先して清掃活動に取り組む姿を見せることで、子どもたちもやらなければと気づいてくれる。親が子の鏡になっていることを知る。

枯葉を掃き集めているところに、ちりとりをタイミングよく持ってきたり、ごみ袋に移す際に袋を広げてくれたりした。一人で掃除するよりもみんなで掃除の方が助けあってできた。子どもはそんな大人の行動を見て次に何をするのか学んでくれたのではないかと気づき、きちんと行動しようと思った。

そ 「育てよう親のチカラ」

保護者が自ら学び
育ちましょう

他の親子との共同清掃活動で、子どもへの指導の仕方、しかり方、褒め方など、反省しながら学ぶ。

他のお母さんが上手に子どもを叱っている姿を見て、「こんなふうに叱れば子どもは伸びるんだ。次からはそうしよう」と思えた。

だ 「だれもが親」

社会全体で子育てしましょう

自分の子どもよりも年上の子を持つ親などの他の親と話すことで日常の悩みを共有したり解消する。また、子どもも周りの大人から学ぶ。

「うちの子、今日の清掃はしているけど、家では全然片づけなくて困っている」とグチを言うと、「うちのお兄ちゃんもそうやったけど、友達を連れてくるようになり片づけるようになった」と聞き安心した。また、親子が別々に活動に参加したが、普段は挨拶しないうちの子が親以外の周りの大人に促されて挨拶でき、地域で育っていると思った。

ち 「地域と親がつながろう」

PTAやこども会など地域の活動に参加しましょう

親子で活動に参加することで、地域の方々に親と子の顔を覚えていただき、今まで以上に、見守っていただけるようなつながりを作る。

子どもと清掃をしていると、「○○ちゃんのパパ、あなただったんですね」と見守り隊の方が話しかけてくれた。登下校では子どもだけの顔が分かっていたが、今日、親子を結びつけられたということだった。普段は会社勤めで学校・地域に関われないことが多かったが、今日を機会に地域との良い関係が作れればと思った。

<活動後主催者が行動>
次に活動を企画する際に見直したりアレンジしましょう

<活動後参加者が行動>
家庭で子どもと共有しましょう
地域でみんなと共有しましょう